

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

2015年1月から5月のチリ国警察の犯罪分析課統計の結果、総被害認知件数は前年比1.8パーセント減少した。罪種別で見ると、現行犯逮捕を含むひったくり事件が前年比6パーセント減少、傷害事件が同比6.8パーセント減少したものの、強盗事件は同比6.8パーセント増加している。また、発生場所としても首都圏の家庭侵入による窃盗事件が前年比2.4パーセント減少したものの、事務所やATM機設置場所等の人が居住していない場所における窃盗事件は同比4.6パーセント増加している。

昨年までは現金輸送車や銀行を襲う強盗は銃器等を所持した武装強盗集団により行われていたが、個人に対する犯罪においては武器の使用は希であった。しかし、本年に入り個人を襲う強盗においても銃器を使用したり集団で暴行を加える等の凶悪な犯罪が目立ち始めている。関係当局も強盗の手段がより凶悪になっていると言及しており、今年からサマータイムも廃止され冬期は夜が長いことも相まって今後も犯罪が増加することが懸念されている。チリ在住の邦人の多くも身近に起きる多くの犯罪に大きな不安を抱いている状況にある。また本年に入り2つの火山噴火、18年ぶりとなるチリ北部での大雨による洪水被害や深刻な大気汚染による16年ぶりの環境非常事態発令など、天災や異常気象が立て続けに起こっており、警察もその対応に多くの時間を要することから、治安情勢の改善は早急には見込めない状況にある。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 4月7日(月)午前2時10分頃、サンティアゴ市プロビデンシア区のショッピングモールに10人組の武装強盗が押し入り、警備員に発砲して負傷させ電気機器店から商品を盗み逃走した。

(2) 5月14日(木)午後2時30分頃、バルパライソ市の学生デモに参加していた大学生2人が家人に許可なく民家にビラを貼ろうとしたところ、家人が発砲して大学生2人が死亡した。

(3) 5月23日(土)午後9時頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区の一戸建て住宅に覆面をした武装強盗5人組が押し入り、誕生日会の準備していた家人を縛り上げた上現金、貴金属等を奪い逃走した。

(4) 5月29日(金)、サンティアゴ市ビタクラ区のレストランの駐車場において食事を終え車に乗り込もうとした弁護士夫婦に対し、拳銃を所持した6人組の強盗が鉄棒で頭部を殴り、蹴る等の暴行を加えた上、財布と車(BMW)を奪い逃走した。

(5) 6月1日(月)午後10時頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区の一戸建て住宅に4人組の強盗が押し入り、家人を鉄棒で殴り現金、貴金属等を奪い

逃走した。

(6) 6月4日午後6時頃、サンティアゴ市ビタクラ区のマポチョ川沿いをジョギングしていた女性が婦女暴行被害に遭った。

(7) 6月19日(金)午前11時20分頃、サンティアゴ市コスタネラ・ノルテ高速道路にあるガソリンスタンドで給油中の男性が、ナンバーのついていない車両に乗ってきた4人組に銃で脅され、車を奪われた。

(8) 6月24日(水)、サンティアゴ市プロビデンシア区のガソリンスタンドに略奪集団が押し入り店舗を破壊し、バスに投石するなどして逃走した。

(9) 6月25日(木)夜間、サンティアゴ市エスタシオン・セントラル区ルイス・インファンテ・セルダ通りにおいて、6人組の若者がバスの運転手及び乗客を脅迫した後、バスを放火して逃走した。

(10) 6月29日(月)午後9時頃、ラ・アラウカニア州の牧場に覆面をした3人組が押し入り、従業員を銃で脅して牛馬80頭を奪った。従業員は別の地区に連れ去られ、警察に通報するなら殺すと脅された。

3 テロ・爆弾事件発生状況

6月24日(水)深夜、サンティアゴ市ラ・システルナ区の銀行に設置された音響爆弾が爆発し、窓の一部が破損した。負傷者はなかった。

4 邦人被害

(1) 4月2日(木)、邦人男性が銀行の明細をインターネットで確認したところ、赴任以来行ったことのないカルフォルニアでの購入記録を発見した。今年に入り常時監視員のいる公共事業省内のATM機を使用していたが、そこでスキミングされたと思料される。

(2) 4月13日(月)午前中、邦人男性がホテルハイアット正面玄関左脇の喫煙所でアタッシュケースを足の間に挟んで2人で喫煙していたところ、横から突然突き飛ばされアタッシュケースを奪われた。犯人は車寄せに停めてあった仲間の車に飛び乗り逃走した。

(3) 4月14日(火)午後9時15分頃、邦人女性が自転車で帰宅途中、ラ・レイナ区のトバラバ通りにおいてナイフを突きつけられ自転車を奪われた。

(4) 4月19日(日)正午頃、サンチャゴ中央市場内において、邦人男性が同僚と一緒に見物中、ズボンの左前ポケットに入れておいた携帯電話(アイホン)をスリ盗られた。

(5) 4月29日(水)午前1時頃、サンティアゴ市レコレタ区のパトロナート付近で邦人男性が一人で歩いていたところ、4人組の若者に羽交い締めになれ、所持していたリュックサック、バスカード、パスポート等を奪われた。

(6) 5月8日(金), 邦人男性が友人と3人でバルパライソのアセンソール上がったところを歩いていたところ, 3人組の男が後ろから静かに近づき, 後ろポケットに入れていた財布をスリ盗り逃走した。

(7) 5月22日(金)午後9時過ぎ頃, ラス・コンデス区のプレシデンテ・リエスコ通りを邦人男性が一人歩いて帰宅途中, バン型の車両が付近で止まり中から3人の男が降りて来るなり頭や顔を殴るなどの暴行を行い, その場で邦人男性が気を失ったところ, 所持していたパソコン等在中のカバン等を盗み逃走した。

(8) 5月31日(日)午前6時頃, 邦人女性旅行者がサンティアゴのバスターミナル近くの道路を歩行中, 3人組の男に肩に掛けていたパスポート, 現金等在中のバッグを引きちぎられ奪われた。

(9) 6月13日(土)午後3時30分頃, 邦人出張者8名がコキンボ港を視察中に駐車していた車両の後部座席窓を割られ車内にあったスーツケース, ボストンバッグ等を盗難に遭った。

(10) 6月22日(月)午後10時頃, 邦人出張者等数名でビタクラ区のレストランで食事中, 裏路地で待機していた社有車の運転手に3人組の犯人が拳銃を突きつけて脅し, 車両を奪って逃走した。

(11) 6月23日(火)午前0時頃, 邦人男性がラス・コンデス区の首都圏地下鉄1号線エスクエラ・ミリタール駅のバス停でタクシーを降りてマンケウエ駅方面の自宅まで小走りで帰宅途中, アポキンド通りの陸橋の上で複数乗車の車両が後ろで止まり, 扉が開いて男が降りてこようとしたことから全速力で駆け出した。車がまた急発進し, 今度は邦人男性を追い越して止まろうとしたことから危険を感じ, 車道に飛び出せば後続車が察知してくれるだろうと思い車線に飛び出して全速力で逃げたところ, そのまま車両は横道にそれていなくなった。

(12) 6月23日(火)午後11時頃, 邦人旅行者がプロビデンシア区のホテルの前でバッグを横に置いて友人と話していたところバッグを持ち去られた。